

目次

はじめに 〈子どものころの三つの記憶〉 2

第一章 コミュニケーションが重要といわれていますが……

自分は自分と他人とできている	12
自分らしく生きる	17
では、自分と社会はどんなふうにつながっているのか	23
人と社会の入り口	27
コミュニケーションについて考える	32
想像力が大事	36

▼ **ここで一休** メラビアンの法則とは？ 41

第二章 伸びる組織は本当の意味で「無関心」を理解している

組織が必要なわけ	44
働く人と働かない人	49
経営理念が必要なわけ	53
経営理念を实践する	58
成績の上がる組織	62
▼ここで一休 マッキンゼーの7Sモデルとは？	67

第三章 流行化されたモチベーションについて考える

私たちは、なぜ働くのでしょうか。	70
モチベーションといわれていますが……	75
モチベーションの上がる仕事	79

第四章

リーダーシップについて「命」から追求する

仕事以外が大事（スポーツのすすめ）	84
掃除のすすめ	89

▼ **ここで一休** 動機付け衛生理論とは？

94

リーダーとリーダーシップ	98
リーダーの役割	104
人がついてくるリーダー	110
では、善人でなければならぬのか？	115
引き際を考える	120

▼ **ここで一休** リーダーシップの自然法則とは？

124

第五章 すこし哲学

時間のくれる恩恵と試練	128
時間を有効に使う	133
技術の進歩をどう考えるか	137
全員一致の決定を尊重する？	142
コンプライアンス	147

執筆を終えて

153